

捨て犬を拾ってきて自宅で育てるなど動物愛護の活動を続けている英国人の大学英語講師、エリザベス・オリバーさん(50)。

大阪府能勢町野間大原Ⅱが、引き取り希望者に情報を提供したり、ペットの正しい飼い方や動物保護の大切さなどをPRするネットワーク組織「ARK」。

「アニマル・リフュージ」動物避難所Ⅱ・カンサイⅡをつけた。日英両国語で編集したミニコミ機関紙を発行することにも、入会を呼びかけている。

ペット、粗末にしないで

動物愛護ネットづくり

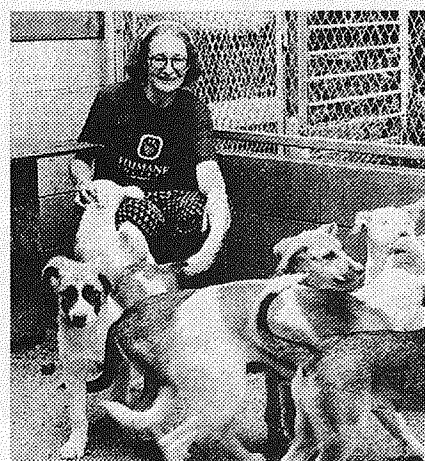
能勢町の
オリバーさんの
ミニコミ紙発行

来日して二十年余になるオリバーさんは、ペットが粗末にされがちなことに心を痛め、十一年ほど前から捨て犬を中心に自

宅に連れ帰って世話するようになった。

ARKは、動物好きの人たち

約一千六百平方メートルの一軒家を建てる。ARKは、動物好きの人たち



捨て犬を世話するエリザベス・オリバーさん

百平方メートルの事務所の建設を始めた。ボランティアの協力で九月ごろオープンする予定で、愛犬用品を扱う店や、会員の交流施設なども設ける。

機関紙の第一号はA4判4

ページ。米国ではペットに情報を入

力したマイクロチップを埋め込

み、コンピュータで迷い犬の

飼い主を割り出すシステムが普

及している話など、興味深い記

事を掲載している。また引き取

りを勧める犬の紹介などの情報

コーナーもある。

英語訳もついており、各国の

動物愛護団体にも送る考えだ。

ARKは、動物好きの人たち

ほかに、いろいろなイベントに参

加できる。

また愛犬を飼い主の旅行期間

中に預かったり、飼い方につ

いて、自宅そばに一階建て延べ

百平方メートルの事務所の建設を

始めた。ボランティアの協力で九

月ごろオープンする予定で、愛犬

用品を扱う店や、会員の交流

施設なども設ける。

機関紙の第一号はA4判4

ページ。米国ではペットに情報を入

力したマイクロチップを埋め込

み、コンピュータで迷い犬の

飼い主を割り出すシステムが普

及している話など、興味深い記

事を掲載している。また引き取

りを勧める犬の紹介などの情報

コーナーもある。

英語訳もついており、各国の

動物愛護団体にも送る考えだ。